

第1期

川崎区区民会議中間報告書



平成19年4月

第1期川崎区区民会議中間報告書の発行によせて

平成18年7月にスタートした川崎区区民会議は、3月までに4回の全体会議と各2回ずつの2つの専門部会を開催しました。審議のまとめは、従来型の「提言」ではなく、何をいつまでに誰がやるかを明確にした「実行計画」を作成しました。これは、審議結果の実行を行政に約束していただく意味合いもありますが、同時に我々区民の実行宣言でもあります。早速、我々区民会議委員が中心となって、各地域・各分野で課題解決の取り組みを順次進めております。

区民会議は公開で開催されておりますが、予定時間を超えて議論することも多々ありました。委員の皆さんは各分野の第一人者ばかりですので、地域における子育て支援など、御自身の経験に基づいた御意見はそれぞれ説得力があり、まとめていくのは容易ではありませんでしたが、異なる意見をぶつけ合うことから新しいものが生まれたと思います。

小さなことでも区民でできることは区民で解決するのが自治の基本であり、区民でできないことは行政や区民会議参与でもある市議会議員や県議会議員に要望していけばよいと考えます。より魅力的で暮らしやすいまちにしていくために、区民会議という手段を使って区民が力を合わせていくことが大切です。「区のイメージアップ」の審議の中でマナーの問題が議論されましたが、アメリカンフットボールワールドカップのような機会を捉らえて区民がひとつになることで、少しずつ改善されていくのではないかと考えています。

区のイメージアップに関連し、委員の有志による「まち歩き」を実施しました。川崎駅周辺の看板や陳列、放置自転車の現状と対策を区民の視点で検証し、実行計画に反映しています。区民が中心となって、この実行計画をひとつずつ実施していくことが住み良いまちづくりにつながっていくものと確信しております。

平成19年4月

第1期川崎区区民会議委員長 **魚津 利興**

目次

平成18年度審議テーマ	1
平成18年度審議経過	2
区のイメージアップ実行計画	4
区のイメージアップに関する議論のまとめ	6
次世代を担う安全・安心を中心とした地域子育て支援実行計画	12
次世代を担う安全・安心を中心とした地域子育て支援に関する議論のまとめ	14
イメージアップ部会まち歩き実施結果	19
イメージアップ部会まち歩き意見交換	20
地域みんなの目で子どもを守る「地域見守り看板」の掲出	22
第1期川崎区区民会議委員名簿	24
専門部会委員名簿	25
川崎区区民会議参与名簿	26

川崎区区民会議 平成18年度審議テーマ

区内各世帯を対象に実施した「区民会議アンケート」の実施結果や川崎区区民会議委員から提出された調査票などを基礎資料として、第1回川崎区区民会議において平成18年度の2つの審議テーマを決定しました。

1 区のイメージアップ

第3回アメリカンフットボールワールドカップ2007川崎大会に向けて区民の力を結集しイメージアップに取り組む

【選定理由】

平成19年7月に川崎球場と等々力陸上競技場を会場に「アメリカンフットボールワールドカップ2007川崎大会」が開催される。サッカーワールドカップのように大規模な大会ではないが、区民の力を結集して海外からのお客様を快くお迎えし、川崎区(市)の魅力を世界にPRしたい。また、これを契機として、まちの美化や観光案内の充実を進め、更なる魅力づくりに繋げていく。

2 次世代を担う安全・安心を中心とした地域子育て支援

【選定理由】

近年、小学校低学年をねらった事件が多発している。首都圏における主要な駅のひとつである川崎駅や大規模な繁華街を抱える川崎区は、利便性が高い反面、自転車事故や路上喫煙など、子どもを取り巻く危険も多い。

昨年度の「試行の川崎区区民会議」では、「地域における身近な子育て・子育て支援活動」と題して子育てサロンや地域子育て支援センターの取組みを中心に審議したが、今年度は「子どもの安全」をテーマに、地域で子どもを守る方策を検討する。

第 1 期川崎区区民会議 平成 1 8 年度審議経過

1	7月 7日 9:30~12:15	委嘱式・事前説明会 ・ 区民会議制度について
2	7月 25日 18:30~20:45	第 1 回区民会議 ・ 委員長副委員長の選出について ・ 川崎区区民会議運営要領（案）について ・ 審議課題の選定について ・ 都市計画マスタープランについて
3	8月 10日 10:00~11:30	第 1 回幹事会 ・ 平成 1 8 年度審議テーマの確定について ・ 専門部会委員の選任等について
4	9月 6日 13:00~14:30	第 2 回幹事会 ・ 専門部会希望調査結果について ・ 専門部会のすすめ方について
5	9月 21日 18:30~20:30	イメージアップ部会準備会 ・ 部会長の選任方法について ・ 審議テーマに係る課題について
6	9月 29日 14:00~15:30	子育て支援部会準備会 ・ 部会長の選任方法について ・ 審議テーマに係る課題について
7	10月 3日 13:30~15:00	第 3 回幹事会 ・ 第 2 回区民会議の運営について
8	10月 13日 18:30~20:50	第 2 回区民会議 ・ 専門部会委員及び部会長の選出について ・ 区のイメージアップについて ・ 次世代を担う子どもの安全・安心を中心とした地域子育て支援について
9	11月 6日 13:30~15:45	第 4 回幹事会 ・ 専門部会のすすめ方について
10	11月 17日 18:30~20:45	第 1 回子育て支援部会 ・ 具体的な取り組み内容について ・ 川崎区こども総合支援ネットワーク会議における子どもの安全確保の取り組み ・ 川中島中学校区地域教育会議の取り組み 子どもの安全を守る学校・地域連絡会
11	11月 21日 18:30~20:45	第 1 回イメージアップ部会 ・ 具体的な取り組み内容について ・ 川崎市の放置自転車対策について（建設局自転車対策室）

12	1 2月 4日 10:30~12:05	第5回幹事会 ・ 第3回区民会議のすすめ方について ・ 川崎区協働推進事業について
13	1 2月 11日 18:30~20:50	第3回区民会議 ・ 専門部会委員の選任について ・ 次世代を担う子どもの安全・安心を中心とした地域子育て支援について ・ 区のイメージアップについて ・ 川崎区協働推進事業について
14	1月 12日 16:00~17:15	第6回幹事会 ・ 第2回専門部会の進め方について
15	1月 17日 18:30~20:40	第2回イメージアップ部会 ・ 具体的な取り組み案について
16	1月 29日 18:30~20:40	第2回子育て支援部会 ・ 具体的な取り組み案について
17	2月 16日 9:30~12:15	イメージアップ部会まち歩き ・ 川崎駅周辺の現状及び改善案 ・ アメリカンフットボールワールドカップ講座
18	3月 8日 15:30~17:30	第7回幹事会 ・ 第4回区民会議の進め方について
19	3月 12日 18:30~20:35	第4回区民会議 ・ 区のイメージアップについて ・ 次世代を担う子どもの安全・安心を中心とした地域子育て支援について ・ 川崎区区民会議中間報告書の提出について

区のイメージアップ実行計画

平成19年7月に川崎球場を中心に開催される「アメリカンフットボールワールドカップ2007川崎大会」を契機として、「おもてなしの心」を持ってマナーアップや身近な環境整備に取り組み、区のイメージアップと住み良いまちづくりを推進する。

川崎区区民会議

	取り組み事業名	内容	3月	4月	5月	6月	7月	平成20年6月まで	取り組み団体等	
区民と行政の協働	まちを花で飾る	国内・国外から川崎を訪れる方々を歓迎するため、川崎駅から川崎球場までの導線を中心に、区民と行政の協働でまちを花で飾る。		→				→	大会終了後も可能な限りプランターを継続設置する。	商店街 海風の森をMAZUつくる会 地域教育会議 学校 川崎区役所 その他協力団体・個人
	わかりやすいサインの新設	W杯会場となる川崎球場は川崎駅から距離があり、初めて訪れる人にはわかりにくいことから、ハローブリッジなど起点となる場所に公共施設などを案内するサインを新設する。		→			→	6月末までに設置		まちづくりクラブ 川崎区役所 その他協力団体
	川崎駅周辺の公共看板の見直し	川崎駅周辺には、公共の看板やのぼり旗が多数あるが、統一感が無いものも古くなっているものもあり、まちの美観を損ねている。そのため、公共看板等の見直しを行い、効果的で景観に配慮したサインへの切り替えを進めていく。具体的には、自転車放置及び路上喫煙禁止エリアであることを知らせるステッカーを街路灯やポールに統一的に貼付する。放置自転車撤去のお知らせを黄色の張り紙から耐久性のある看板へと切り替えていく。		→				5月末までに設置		まちづくりクラブ 川崎区役所 その他協力団体
	「音楽のまち かわさき」のPR	「音楽のまち かわさき」をPRすると同時に大会ムードを盛り上げるため、大会準備期間及び大会期間中に、川崎駅周辺及び富士見公園周辺で「いつでも誰でもコンサート」を実施する。		→						区民(音楽家) 川崎区役所
区民	マナー啓発	アメリカンフットボールワールドカップ2007川崎大会の観客や関係者など、日本各地や外国からのお客様に快く過ごしていただくため、自転車放置や路上喫煙を無くしてまちをきれいに保つよう各地域で草の根的によびかける。		→				→	継続	各区民 各団体
	マナー実践	ワールドカップ開催都市にふさわしい品格を維持するため、マナーを守り清潔で安全な歩行空間を維持する。		→				→	継続	各区民
	オープンカフェの実施	アメフトW杯に合わせて、まちの彩りと屋外で気持ちよくお茶を飲む場所を提供するため、市役所通りや国道15号の歩道を利用したオープンカフェを試験的に実施する。						→		まちの景観づくりを推進する会
行政	W杯大型バナーの設置	大会ムードを盛り上げると同時に市民への周知を図るため、教育文化会館の歩道に面した柱に、アメフトW杯を盛り上げる大型バナーを設置する。			→					川崎区役所
	重点的な自転車対策の実施	W杯期間中に集中的な自転車整理及び啓発を実施する。					→			川崎区役所

改善要望	恒久的な駐輪場の整備	川崎駅東口周辺は、放置自転車により歩行が困難であり、区のイメージダウンとなっている。また、歩道上の駐輪場が歩道の幅員を狭めていることから、歩行者と自転車が接触し大変危険である。放置自転車と歩道上の駐輪場を解消するため、川崎区区民会議として恒久的な駐輪場の早期整備を望む。
------	------------	---

区のイメージアップに関する議論のまとめ

まちを花で飾る

国体開催時の取り組みを参考にまちを花で飾り、川崎に来てよかったと思えるようにしたい、放置自転車禁止のカラーコーンはプランターのほうがよいとの意見がありました。また、社会を明るくする運動や学校との連携などについて提案がありました。

・国体開催時の取り組みを参考に、まちを花で飾るような参加しやすい場や材料の提供を検討してはどうでしょうか。

・以前に「花いっぱい」として区役所前に花を植え、区役所内の窓口などもきれいにしたことがあったと記憶しています。

・一人一人が気をつけて、全体では大変かも知れないので、例えば区役所の周りや駅の周りなどを重点的にできるところから実施したらよいと思います。

・アメフトワールドカップが成功し、観戦に来た人が川崎に来てよかったと思うように、その期間だけでも行政に費用を負担してもらい、花を飾ってきれいにしたいと思います。

・地域の人が自宅前の街路樹の剪定することが可能なのかわかりませんが、地域の人に声をかけ、簡単な剪定はしたら良いと思います。

・きれいなまちをつくるために駅前周辺だけでなく、例えば大島から藤崎にかけても花をいっぱい植えてきれいにしていきたいと思います。

・さいか屋前の駐輪禁止対策は、青いカラーコーンより花の方がまちがきれいに見えると感じました。

・商店街はアメフトW杯を全国からアメフトファンが川崎に集まる「マーケットチャンス」とらえているので、区民会議から川崎駅周辺の各商店会に働きかけをしていくことはできると思います。

・W杯期間中に集中的に取り組むのも必要ですが、期間前、例えば4月くらいから取り組みを開始し、7月頃には地域がきれいになり、区民もお客様を迎える心構えができているようになるようなスケジュールで実施したら良いと思います。

・区民会議アンケートでも区内の美化に関する要望が高かったが、それはW杯期間中だけきれいになればよいということではないので、少し早めに取り組みを開始し、一時的な活動ではなく、アメフトW杯終了後も継続的な活動になるように実施したら良いと思います。

・7月は「社会を明るくする運動」の強化月間でもあるので、それとタイアップして取り組んではどうでしょうか。

・あいさつ運動、花いっぱい運動は小・中学生が実施している地域もあるので、学校やPTAにも協力してもらおうのも良いと思います。

・小・中学校の児童、生徒にも参加をしてもらうのはとても良く、花いっぱい運動は、プランターに設置した人の名前、学校名などを入れると関心を持ってもらえると思います。

・放置自転車で鉢やプランターを置くスペースがないなどの実際上の問題はありますが、呼びかければ協力してくれると思います。・健康福祉局が実施しているホームレスの自立支援の中で種苗を育てる事業があるので、健康福祉局の予算の関係もあるが、協力をお願いしたら良いと思います。

・自分の名前や通っている学校の名前が記入されたプランターなどが飾られれば、飾られた人もうれしいと思います。

・川崎球場からの帰りは市立川崎病院の前を通る人も多いということなので、商店街だけでなく、その周辺の家にも協力を呼びかければ良いと思います。

まちの美化

まちにおけるポイ捨てやはみ出し陳列・看板などが美観を損ねているが、一部の企業・店舗では毎朝清掃しているところもあり、そういった活動を広げていくしくみが必要、などの意見がありました。

・商店街でドラッグストアの競争が起きており、歩道まで商品を陳列しているため、挟まれた商店も歩道まで陳列する結果となっています。

・小・中学校、PTA、地域教育会議などの教育機関にも呼びかけをして、児童、生徒、保護者などにも参加してもらうようにしてはどうでしょうか。

・幸区では小・中学校の児童、生徒が月1回社会奉仕活動の一環として実施しているので、川崎区でも実施できるように、行政や区民会議から地域教育会議や校長会などに申し入れをしてはどうでしょうか。

・継続的な取り組みにするためには、町内会、自治会などだけでなく、さまざまな団体に呼びかけをしていく方が良いと思います。

・一部の金融機関、ホテル、コーヒーチェーン店などには店舗の前を毎朝清掃しているところもあるので、そういった活動が広がるように他の店舗にも呼びかけをしたら良いと思います。

・毎日ではないが、地域の企業が自分の会社の周辺100mくらいを清掃している例もあるので、そういった活動が広がれば区全域がきれいになると思います。

・きれいな場所にはごみを捨てにくいので、身近な美化活動を継続的に実施していくと良いと思います。

・駅前にも複数の商店会がありますが、商店会に加入しない商店もあると思いますので、美化活動などを実施する際に協力を得られない懸念もあるのではないのでしょうか。

・確かに商店であるため利害が対立することもあります。区民会議から呼びかければ協力を得られると思います。例えばハロウィンパーティなどのように、イベントのようなものがあれば協力して実施する体制はできています。

- ・商店会でははみ出し陳列、強引な客引きの方が深刻な問題と考えています。
- ・規制や取り締まりではなく、逆に良い活動を評価したら良いと思います。先ほど事例が紹介されましたが、自主的に地域を清掃している活動を他の金融機関、ホテルなどや学校などにも広げていき、活動する人が増えていけばまちは変わり一部の心無い区民も変わると思います。
- ・具体的には、表彰制度設けるなどが考えられると思いますが、良い活動を評価し、区民に紹介して活動を広げていけば良いと思う。
- ・川中島中学校区など、区内で実際に実施している地区もありますので、それを参考にしたらどうでしょうか。
- ・町内会・自治会などは美化推進委員を中心に活動していただき、商店街は商店会を通じてお願いをしていったらどうでしょうか。
- ・美化運動はアメフトW杯に向けて集中的に実施すべきであり、行政が費用などの負担をすれば、区民も積極的にイメージアップに取り組んでいくと思います。
- ・公共看板への落書きが目立ちます。
- ・川崎駅周辺には公共施設の案内看板が無いので、サインの設置が必要だと思います。
- ・ポイ捨てののぼり旗は美観が良くないので、キャンペーン期間のみにすべきです。

マナーアップ

ポイ捨てや放置自転車は人の心の問題であり、マナーアップのための啓発や教育が必要、などの意見がありました。

- ・自転車が悪いのではなく、乗る人のマナーの問題です。自転車も整理されていれば気持ちがいいと思います。
- ・身近な環境整備は突き詰めると人の問題で、大事なのは大人の教育だと思います。
- ・たばこのポイ捨ては今年から「路上喫煙防止条例」が施行されてかなり減ったと思います。
- ・子どもを子ども用の自転車に乗せて自分も自転車に乗ると本当に大変なので、後ろに乗せた方が保護者にとっては安全であると思います。
- ・保護者にもどういう乗り方が危険かを伝えていく必要があると思います。
- ・缶やペットボトルはばつぶしてリサイクルする機械を設置すればいろいろな人が使用し、リサイクルも身近に感じてまちもきれいになると思います。
- ・これまで出された意見は規制や取り締まりを実施するというものが多いですが、規制や取り締まりは効果的でも抜け道があるため限界もあると思います。
- ・区の課題の根本原因は区民の心だと思います。ごみを平気で捨てる一部の区民のために区のイメージがダウンしています。

アメフトW杯の成功

アメフトW杯を契機として、まちの雰囲気やイメージを明るくしたい、まちを綺麗にした
いとの意見がありました。また、外国からのお客様にわかりやすい案内サインを整備すると居
住する外国人にも便利なまちになる、区民がアメフトに関心を持って欲しい、などの意見が
ありました。

- ・アメフトW杯はまちの雰囲気を明るくすることが重要です。
- ・川崎駅東西自由通路でアメフトのプロモーションビデオを流してはどうでしょうか。
- ・歓迎ムードの演出は大人が見本になり、あいさつ、笑顔といった迎える気持ちを醸成すれ
ばよいと思います。
- ・アメフトW杯に来る人に綺麗なまちを見せ、そこから普段のまちも綺麗にしたいという
気持ちを醸成して行ってはどうでしょうか。
- ・アメフトワールドカップは外国の人がたくさん来るので、これを機会に区が外国人にも
わかりやすいまちに変わるとずっと住んでいる外国人も便利になると思います。
- ・川崎球場を最初に使用する日にミニセレモニーのようなものを開催すれば区民がアメフッ
トに関心を持つ動機付けになると思います。区民会議として要望できないでしょうか。
- ・せっかくW杯が川崎球場で開催されるのだから、先ほど委員が提案したようにW杯を区民
がアメフトに関心を持つ動機付けにして、アメフトを身近に感じられるように区民会議
で取り組めたら良いと思います。

歴史を観光に活かす

東海道川崎宿や川崎大師平間寺などの歴史を活かしたイメージアップや観光を推進すべき
との意見がありました。

- ・西口の新しい文化の創出はかえって好都合。歴史ある川崎をアピールするいいタイミングだ
と思います。
- ・東海道を利用した川崎のイメージづくりのため、資料館のような拠点が必要だと思
います。
- ・東海道はみんなが少しずつエネルギーを出せそうなテーマなので、小さなものからでも実現
させたいと思います。

自転車対策

自転車が放置されないためにはどうすればよいか、制度や乗り方、原因について様々な意見や提案がありました。また、銀行・商店の対応や子どもと保護者の指導を求める意見が多くありました。

- ・身近な環境整備は放置自転車対策が一番重要であり、自動車のように駐輪場の証明が無いと購入できない規制があってもよいと思います。
- ・自転車メーカーや販売店も責任あるはずで、新車への千円上乗せや登録制度も検討する必要があります。
- ・自転車を放置する人には、自分は便利でもまわりが不便になっていることを感じてもらいたいと思います。
- ・自転車は軽車両ということを知らな過ぎるので、自転車教室などでよく知ってもらう必要があります。
- ・まずは銀行と遊技場の周辺に自転車を置かないようにして、それを広げていってはどうでしょうか。
- ・金融機関に預金をおろしに行くなどちょっとした用事で5分間止めるだけなのに、駐輪場を利用して利用料を払うのは抵抗があります。金融機関や商店にもそういったことを考えて欲しいと思います。
- ・自転車が止められる最初の原因は、商店の従業員が駐輪することです。その人たちが毎日駐輪すると、通行人も「ここは駐輪してもいいのだ」と感じて駐輪してしまうのです。
- ・通勤や通学で利用する人が朝早く駐輪し、買い物などの用事に来た人が放置するのではないかと思うので、そのことを徹底的に調べてどうしたらいいかを検討したら良いと思います。
- ・多少川崎駅から離れた場所に駐輪場を設置し、無料にしてそちらに誘導するなどすればよいのではないのでしょうか。
- ・行政が実施している子どもの自転車教室は乗り方の指導だけしかしていないようですが、駐輪や保護者が子どもを乗せて走ることが危険であることなどのマナー指導も実施したらよいと思います。
- ・自転車教室の指導内容を子どもから保護者に伝えてもらうようにして広めれば効果的だと思います。
- ・自転車教室は授業として実施しているため保護者の参加が少ないので、保護者も参加できるように工夫して、子どもと一緒にマナーを学んだり、子どもの走行技術を見てもらったりしたら良いと思います。
- ・事前にアメフトW杯の期間中は駐輪しないように看板などを設置したらどうでしょうか。アメフトW杯期間中だけ実施すればよいわけではないですが、少なくとも期間中は放置させないようにしたいと思います。

その他

区のイメージアップに関する審議の進め方や取り組みの実行について意見がありました。また、外国人にわかるような標記などについても意見がありました。

・身近な環境整備については様々な団体が取り組んでいますが、一時的なもので終わらせない

工夫が必要です。

・身近な環境整備が一番重要です。まず私たち区民が何をしなければならないかを検討しないとけないと思います。

・区民にどのようなことができるのかを具体的に検討すべきです。

・網羅的に取り組むには時間が足りないので、一つずつ検討してはどうでしょうか。

・アンケート回答者に高齢者が多いのは、子や孫の世代に引き継ぐために住民としてすべきことがあるという強い思いの表れだと思います。

・区民会議では、実行できるものや具体的な形で成果が表れるものを議論し、できることから実行したいと思います。

・外国人にもわかるような情報の提供が必要です。母国語で表示があれば、訪れた外国人が川崎に住みたいと思うかもしれません。

・ホームレス問題は多摩川の土手で増えているので対策が必要です。

・各委員はそれぞれが所属する団体に持ち帰り、協力を呼びかけ、できる団体は積極的に実施してはどうでしょうか。

次世代を担う子どもの安全・安心を中心とした 地域子育て支援実行計画

近年、子どもが巻き込まれる事件・事故が多発しており、子どもの安全確保は喫緊の課題となっている。そこで、地域みんなの目で子どもを守るため、区内外で取り組まれている子どもの安全を確保する先進的な活動を、区全域に広めていくことを目的とする。

川崎区区民会議

	取り組み事業名	内容	平成19年3月	4月	5月	6月	7月	平成20年6月まで	取り組み団体等
区民と行政の協働	地域見守り看板の設置	地域みんなの目で子どもを守るため、登下校時間に合わせて外の用事をしながら子どもを見守ることを呼びかける「地域見守り看板」を設置する。		→					各区民 町内会・自治会 川崎区役所 その他協力団体・個人
	「安全・安心推進の日」の設定	地域における安全・安心な環境づくりを推進するため、毎月 日を「安全・安心推進の日」と定め、青色回転灯装着車によるパトロール活動や地域見守り活動を重点的に実施する。		→					安全・安心まちづくり推進協議会 川崎区役所 その他協力団体・個人
	青色回転灯装着車パトロールの実施	青色回転灯装着車などを利用した地域防犯パトロールを実施する。						継続	町内会・自治会 川崎区役所 その他協力団体・個人
区民	「ながら」見守り活動の実施	買い物や犬の散歩、草花の手入れなど外の用事をしながら、子どもの安全を見守る。						継続	各区民
	商店街見守り放送の実施	登下校時や休日の子どもの安全を確保するため、各地域の商店街において、子どもの安全確保を呼びかける放送を実施する。	4月末までに依頼し、可能なところから順次実施する。	→				継続	商店街 各区民
	家庭、学校、地域の連携の強化	地域における日ごろの防犯体制を強化するため、家庭、学校、地域の連携を強化し、子どもにとって安全・安心な環境づくりを行う。また、不審者など子どもの安全が脅かされる危険性がある場合、家庭、学校、地域が連携して子どもを守るため、地域連絡会の設置や連絡網の整備を行う。						継続	各家庭 各地域 各学校
	日ごろの防犯体制の強化	各地域の実情に応じた見守り活動や声かけ運動を実施し、日ごろの地域防犯体制を強化する。						継続	町内会・自治会 PTA その他協力団体・個人
行政	新入学時の啓発	小学校新入学児・中学校新入学生の安全確保を目的としたチラシを作成し、入学説明会や入学式において保護者に配布する。(12～4月)		→				12~4月	川崎区役所
	迅速な情報伝達	ホームページやメール配信システムなどを活用し、不審者情報を迅速に提供する。						継続	警察署 市民局 教育委員会 川崎区役所

改善要望	医療体制の充実	小児救急体制の強化や産科医師不足の対策は喫緊の課題であることから、川崎区区民会議として早期改善を望む。
	子育て支援制度の充実	子どもは社会全体の宝であるので、産んでくれた方だけに経済的な負担をかけないよう、川崎区区民会議として子育て支援制度の充実を望む。

次世代を担う安全・安心を中心とした地域子育て支援に関する議論のまとめ

見守り活動

子どもが巻き込まれる事件が増加していることから、早急に子どもの安全を確保する必要があるという意見が多数ありましたが、一方で不審者情報を子どもに伝える場合、子どもが大人に不信感を持たないように気をつけなければならないとの意見もありました。

- ・いま子どもに対する事件が増加しているので、一刻も早く子どもの安全・安心を確保しなければならないと思います。
- ・各地域でいろいろな取り組みが行われていますが、それを系統立ててつなげていく必要があると思います。
- ・地域での子どもの見守りは、大人が子どもを見守るだけでなく、子どもが大人を見守る事例もありました。
- ・ハサミ切りつけ事件から地域の人が子どもに目を向けてくれていますが、今後途切れることがないようにすることが大切です。
- ・不審者情報などは、正確な情報収集や、その情報の関係機関への提供が大切です。
- ・地域の見守りはそれぞれの小学校の特色がありますので、自然の流れの中で、不足があれば補うような形で進めたほうがよいと思います。
- ・実際に子どもが不審者などに声を掛けられた場合に、どのように対応すべきか啓発が必要だと思います。
- ・不審者などの情報を子どもに伝える場合、子どもが大人に不信感を持たないように気をつけています。
- ・どのような人たちに活動してもらうかが重要であり、どうすれば実際に地域の人が活動できるか検討すべきと思います。
- ・土日における子どもの安全・安心を確保することがあまり取り組まれていない気がします。
- ・わくわくプラザから子どもといっしょに帰ってくれる大人がいると親は安心です。
- ・防犯パトロールなどを継続していくためには、パトロールをする人の負担にならないようにすることが重要です。

・私の住んでいる地域でも登校時間帯に自転車でパトロールをしていますが、下校時間帯は時間に幅があるので実施していません。

・最近はこの地区も子どもの安全に関しては熱心に取り組む姿勢が見られますが、登校時、日中、下校時と1日中見守りをするのは難しいと思います。

・防犯パトロールなどを実施しなくても、普段の生活の中で防犯パトロールのユニホームや目印を身に付けて外出すれば良いと思います。地域にユニホームや目印を身に付けた人がいれば、不審者は監視されている印象を持つと思います。

・登下校時間に自宅前に立ったり、買い物や犬の散歩をしながら見守り活動したりすれば、すぐに実施でき、負担も少ないため継続的に取り組むことができると思います。

・長期的に継続して実施するには「ながら」の見守り活動を中心に取り組むことが負担も少なくて良いと思います。

・地域の人との信頼関係を築くように、声かけ運動も推進する内容にすると良いと思います。

・「子ども見守り重点活動日」のように、日にちや場所などを決めて重点的に取り組むことによって、活動していることを周知することができると思います。

・「ながら」の見守り活動は良いと思います。暗くなってから下校する児童や生徒も多いので、地域の人が買い物、犬の散歩などをしながら、一緒に帰ってくると保護者は安心です。

・川崎区に働きに来ている人も含め、広い意味で区民全体に呼びかければ良いと思います。

家庭・学校・地域の連携

不審者などに対応するには家庭・学校・地域の連携を強化する必要があるとの意見が多くありました。小学校に比べて中学校は地域との連携が弱いとの指摘や、学校の外ばかりでなく学校内も地域で見守るべきとの意見もありました。

- ・家庭、学校、地域の三者の連携を密にする必要があると思います。
- ・地域で活動する諸団体が一体となって学校内とまちの巡回などを行い、地域力の再生により児童にとって安全安心な環境づくりを行ってはどうでしょうか。
- ・事件が起こりやすい場所を調べて改善していくべきです。
- ・小学校は比較的連絡が取れていますが、中学校は行事やお祭りなどのときしか連絡を取っていないので、中学校の先生と地域がもっと連絡や触れ合いを持つ工夫があればよいと思います。
- ・地域の教育力と言われているが、保護者は地域の力を借りたいと考えているので、何か接点をつくってあげられれば良いと思います。
- ・地域と学校の接点も考える必要がある。子どもと地域の人とのコミュニケーションの機会を増やすことで、地域も子どもの安全に向けていくと思います。
- ・子供会活動などを一生懸命やっている子どもは自立しているので、地域活動に子どもを参加させることが安心・安全の早道だと思います。
- ・子どもと地域の大人が接触する機会がなくなっていると思います。
- ・先日不審者が現れましたが、すぐに生徒が学校に連絡し、警察と連携して犯人を捕まえることができました。地域、家庭、学校、行政などの関係機関で迅速に連絡を取り、連携して対応することが重要だと感じました。
- ・子どもが事故に遭うのは登下校時だけでないと思います。日中にどんな人が学校内に侵入してくるかわからないので、日中も地域の人が学校内に入り見守りをするべきだと思います。
- ・いじめ問題も地域の人が学校内の死角を見回れば防げると思います。
- ・学校のバックネット裏や塀際など、学校内のあまり使われていない場所を利用して、地域の人が野菜の栽培やゲートボールなどができるようにしている学校もあります。
- ・学校外の安全・安心の議論をしているが、いじめを受けている子どもにとっては学校内も危険である。それら学校内の安全・安心も含めて地域でできないでしょうか。
- ・第1段階として学校周辺の見守りを実行し、第2段階としてできる地域だけ学校内の見守りも実施すれば良いと思います。
- ・既に学校内に地域の人が入って見守りをしている学校もあります。

・以前は学校内のことは学校という考え方も多かったが、最近は学校、家庭、地域の三者の連携を取るようになっていっています。学校内の見守りはありがたいが、実施するには課題もあると思います。

実行には難しさも

パトロールなどの見守り活動の必要性は誰もが認めるところですが、いざ実行しようとするとなんか問題があることがわかりました。また、区民会議のあり方に関する意見もありました。

・安全・安心に関して言えば、継続的な見守り活動はこれまでもいろいろな団体、機関で実施してきました。区民会議は地域の課題を抽出するだけでなく、解決することが役割であるため、誰がどのように地域の人と共に活動するのかを議論することが会議の中心だと思います。区民会議としてどのような協力や関わりができるのかを議論しないと、課題解決という大きな主題が果たされないのではないかと感じました。

・区民会議を設置した趣旨は、地域の身近な課題を地域で生活する人の視点で把握して解決策を提案し、それを区民が実際に実行することであり、行政はあくまで支援する立場です。

・川崎区に限らず他区でも、区民会議で決まったことを各委員が推薦団体をお願いした場合、実際に団体が実施できるのかどうかという問題に直面しています。

・防犯パトロールならばどのくらいの人数、頻度で実施するかなどを各団体に提案したいと思いますが、その提案がその団体に実施できるかどうかは各団体の判断によると思います。

・青色回転灯車は使用する際の手続きに手間がかかり、パトロール中に何らかの事故が発生した場合の補償もないため、使用しづらいと感じます。

・見守り活動は町内会などの各団体の会員が仕事として取り組みではなく、「こういう活動があります」と会員に紹介し、その趣旨に賛同した人に自発的な協力を求める方が良いと思います。

出産・病気

・小児救急や産科医の減少は行政的な課題ですが、区民会議の一つの意見として挙げておきたいと考えます。

経済的支援

・子どもは社会全体の宝であるから、産んでくれた方だけに経済的な負担をかけるべきではないと思います。

その他

子育て経験が豊富な女性が若い夫婦の相談に乗る制度など、地域子育て全般に関する意見も多くありました。

・若い夫婦が助言をしてくださる経験者の方と出会う場があれば、もっと安心して子どもを育てられるのではないのでしょうか。

・親のストレスが虐待につながっていくと思うので、親もほっとできる空間が地域の中でできていくとよいと思います。

・京都の「となりのおばちゃん」のように、女性会や婦人会で若いお母さんの相談にのるシステムがあるとよいと思います。

・「となりのおばちゃん」制度のように、若い夫婦は子育て経験、知識が不足しているために大きな負担がかかっているといった問題を取り上げ、それを子育て経験者が支援するような制度を構築するといったテーマの方がわかりやすいと思います。

・昔は祖父母がそばにいていろいろアドバイスできたが、今はそういう状況が望めない若いご夫婦がたくさんいる。若い夫婦に対する相談やアドバイスなど、もっと手を差し伸べて子どもが健全に育つような状況を社会全体でつくっていかねばいけないという声を聞き、これからの未来を担う子どものために何ができるかを区民会議で一つでも実効性あるものを共につくっていったらと思います。

川崎区区民会議イメージアップ部会まち歩き 実施結果

川崎駅周辺の課題を改めて確認し、課題解決に向けた実行計画を検証するため、自主参加による「イメージアップ部会まち歩き」を実施しました。

子育て支援部会のメンバーも加わり10人の委員が実際にまちを歩きながら、放置自転車やはみ出し陳列・看板の現状を確認しました。委員からは「歩道駐輪場の警備員が少な過ぎる。」「ポイ捨てなどの幟旗は常時置くべきではない。」「せっかくの花壇が自転車で見えないので背の高い花にすべき」などの意見が出されました。

実施日 平成19年2月16日(金)

参加者 委員 10名(森、古川、原田、猪熊、金岩、中村、田辺、魚津、青木、荒井)
事務局10名
アメフトW杯講座説明 2名

行程

9:30 区役所会議室集合、概要説明

9:45 出発

市役所通り(歩道上の駐輪場について管理員に話を聞いた。)

ダイス前(放置自転車撤去現場を見学予定だったが時間が合わず断念)

モアーズ前

ルフロン前

太田病院(病院脇の歩道上に放置自転車多数)

チネチッタ商店街(商店街の自転車対策を中心に説明を受けた。)

銀柳街(はみ出し陳列の現状)

たちばな通り(はみ出し看板の現状)

11:00 区役所会議室帰着、アメフト観戦ガイド、意見交換

12:15 解散



イメージアップ部会まち歩き 意見交換

場 所	現況・改善案
共 通	<ul style="list-style-type: none"> ・新川通はステンレス、京急通りはプラの商業者のごみ箱が目立つ。(委員) ・思ったよりゴミが少ない。7月8日の自転車対策はどうするのか。(委員) ・アメフト終わったら元どおりでは仕方ない。(委員) ・公共看板への落書きが目立つ。(委員) ・公共サインが氾濫し、統一したまちなみとなっていない。これでは民間を指導できない。(まちづくり局) ・公共施設の案内看板が無い。(委員) ・ポイ捨てののぼり旗はおかしい。(委員) ・のぼり旗はキャンペーン期間のみにすべき。(委員) ・のぼり旗は美観良くない。(委員) ・はみだし看板は、本社に連絡すれば一発で改善される。(委員) ・はみ出し看板は市民活動的に盛り上げていかないとらちあかない。時間がかかる。(事務局)
市役所通り	<ul style="list-style-type: none"> ・ハローブリッジ階段下が違法であれば区役所は駐輪場を確保すべき。休日はかわしん前にバイクが多い。(委員) ・駐輪場係員3人では少ない。看板は肝心なところが消えている。ポリゴミ箱が歩道を塞いでいる。バス停の椅子も景観上良くない。(委員) ・歩道を者置場にしているコンビニがある。(委員) ・野村證券のようにウインドウに花を飾ってもらってはどうか。銀行前はひどい。自転車利用券は日毎に色を変えてはどうか。(委員) ・自転車係員の方は朝5時半から勤務している。銀行前は休日は百元ストアに占領されている。街路樹のマスはスペースがもったいないので狭くしてはどうか。花が自転車で見えないので背の高い花でないため。(委員)
ダイス前	<p>放置自転車が無く、きれいで驚いた。(委員)</p> <p>ちょうど本日撤去したばかり。(事務局)</p>

<p>チネチッタ 商店街</p>	<p>駐輪場400～450台分ある。駐輪場を含めて警備人件費2,800万円かかるがやむをえないと思っている。社員用は別に確保している。(チネチッタ商店街専務理事)</p>
<p>銀柳街</p>	<p>はみ出し陳列はお客からすると商品が見やすいが街の品位は無い。(委員) 横浜元町も整然としたまちなみになり盛り返した。(委員) 12時過ぎると車でいっぱいになる。(委員) バイクも多い。(委員)</p>
<p>たちばな通り</p>	<p>歩道と同じ幅の看板が出ており歩けない。(委員) 仲見世も同様である。(委員) 商店街と連携する必要がある。(事務局)</p>

地域みんなの目で子どもを守る「地域見守り看板」の掲出

市立宮前小学校において、児童代表、校長、PTA会長、町内会長、区民会議委員らにより、地域みんなの目で子どもを守る「地域見守り看板」を掲出しました。

この看板は、子どもたちの学校の行き帰り時間に合わせて外の用事をしながら子どもを見守ることを呼びかけるもので、地域における子どもの見守り活動に役立ててもらうために、川崎区こども総合支援ネットワーク会議、川崎区安全・安心まちづくり推進協議会、川崎区区民会議の共同プロジェクトとして川崎区役所が作成しました。

掲出当日は、川崎区区民会議委員の古川博子さんが看板作成の経過や目的を児童に説明し、参加者の手によって校門の門扉に看板を取り付けました。

日 時	平成19年3月22日(木) 8時45分		
場 所	市立宮前小学校校門		
参加者	宮前小学校長	澤口安雄 氏	
	宮前小学校PTA会長	秦 琢二 氏	
	宮前小学校5年生	星野愛香さん	榎本洸太郎さん
		石島優一さん	千葉茉莉奈さん
	宮前町町内会長	山崎友明 氏	
	川崎区区民会議委員	古川博子 氏	
	川崎区長	長坂 潔	

古川博子さんの児童への説明

区民会議では、どうしたら住み良く安全になるかを話し合っています。その取り組みのひとつがこの看板です。この看板を付けることによって、大人たちが「子ども達が帰ってくる時間だな」と気にかけてもらって、子どもの皆さんも見守ってくれる大人の皆さんを覚えて挨拶をしてくれたらいいと思います。

澤口校長の挨拶

宮前小学校は学区が広く商店街など様々な場所があり、PTAの方々などに御協力いただき安全には気をつけていますが、今回こういった看板ができましたので、子ども達のほうも「あいさつ運動」などをして、みんなで協力して子どもの安全を守っていききたいと思います。

星野愛香さんの御礼の言葉

「子どもを守ろう」の看板をいただき、ありがとうございました。このような看板があると、もし子どもたちがあぶないことに巻き込まれたりしたら助けてくれる人たちが増えてとてもいいと思います。本当にありがとうございます。



さいご さいご
地域の**か**で

こ **子ども**を まも
守ろう



こ **子ども**たちの がっこう **学校**の い **行き** かえ **帰り** じかん **時間**に合わせて、か **買**い物や いぬ **犬**の散歩、くさばな **草花**
てい **手**入れなど そと **外**の ようじ **用事**をしながら、こ **子ども**の あんぜん **安全**を みまも **見守**ってください。

Blank rectangular box for additional information or contact details.

協力 川崎区区民会議 川崎区安全・安心まちづくり推進協議会 川崎区子ども総合支援ネットワーク会議
製作 川崎区役所

第 1 期 川崎区区民会議委員名簿

任期 平成 1 8 年 7 月 1 日から 分野順・敬称略
平成 2 0 年 6 月 3 0 日まで

	氏名	分野等	推薦団体	
副 委員長	ダンツカ マコト 弾塚 誠	防災又は地域交通環境の向上など 安全で快適な暮らしを支える分野	川崎区安全・安心まちづくり推 進協議会	
	スヤマ ヨシコ 須山 令子	福祉の推進、健康の増進など幸せ な暮らしを支える分野	社会福祉法人 川崎市川崎区社会福祉協議会	
	ヨシムラ ヤスヒロ 吉邨 泰弘		川崎区医師会 (社団法人 川崎市医師会)	
	モリ タカスケ 森 教祐		川崎区保護司会	
	フルカワ ヒロコ 古川 博子	子育て、教育など人を育て心をは ぐくむ分野	川崎区 P T A 協議会	
	ハセガワ ユキコ 長谷川 幸子		川崎区民生委員児童委員協議会	
	ハラダ アユム 原田 歩	緑の保全、ごみの抑制など自然環 境又は生活環境を向上させる分野	川崎区市民健康の森 海風の森を M A Z U つくる会	
	イノクマ トシオ 猪熊 俊夫	産業の振興、都市拠点の形成など まちの活力を高める分野	かわさきマネジメント機関運営 協議会 (かわさき T M O)	
	カナイワ イサオ 金岩 勇夫	文化又は観光の振興などまちの魅 力を発信する分野	川崎区文化協会	
	ナカムラ ナリコ 中村 紀子		特定非営利活動法人 かわさき歴史ガイド協会	
委員 長	アイハラ アキラ 藍原 晃	地域住民組織活動、まちづくり活 動など市民自治を推進する分野	川崎区連合町内会	
	イシワタ ヨソウエモン 石渡 與惣右衛門		川崎区連合町内会	
	シマダ ジュンジ 島田 潤二		川崎区連合町内会	
	タナベ トミオ 田辺 富夫		川崎区まちづくりクラブ	
	ウオツ トシオキ 魚津 利興	その他、各区の 地域特性に応じた 課題に関する分野	企業市民 多文化共生	川崎商工会議所
	バク ヨシジャ 朴 栄子			川崎市ふれあい館 (社会福祉法人 青丘社)
	アオキ エミコ 青木 恵美子	公募		
	アライ ケイハチ 荒井 敬八	公募		
副 委員長	オガサワラ イサオ 小笠原 功	公募		
	ホシカワ タカヨシ 星川 孝宜	公募		

(2 0 名)

川崎区区民会議専門部会委員名簿

は部会長

委員氏名(敬称略)	イメージアップ部会	子育て支援部会
弾塚 誠		
須山 令子		
吉邨 泰弘		
森 教祐		
古川 博子		
長谷川 幸子		
原田 歩		
猪熊 俊夫		
金岩 勇夫		
中村 紀子		
藍原 晃		
石渡 與惣右衛門		
島田 潤二		
田辺 富夫		
魚津 利興		
朴 栄子		
青木 恵美子		
荒井 敬八		
小笠原 功		
星川 孝宜		
人数計	12	11

川崎区区民会議参与名簿

五十音順・敬称略

【市議会議員】

氏名	所属会派
飯塚 正良 <small>イツカ マサヨシ</small>	民主・市民連合
岩崎 善幸 <small>イワサキ ヨシユキ</small>	公明党
小林 貴美子 <small>コバヤシ キミコ</small>	公明党
栄居 義則 <small>サカイ ヨシノリ</small>	民主・市民連合
坂本 茂 <small>サカモト シゲル</small>	自民党
佐野 仁昭 <small>サノ ヨシアキ</small>	共産党
嶋崎 嘉夫 <small>シマザキ ヨシオ</small>	自民党
西 譲治 <small>ニシ ジョウジ</small>	民主・市民連合
浜田 昌利 <small>ハマダ マサトシ</small>	公明党
林 浩美 <small>ハヤシ ヒロミ</small>	自民党

【県議会議員】

氏名	所属会派
杉山 信雄 <small>スギヤマ ノブオ</small>	自民党
武田 郁三郎 <small>タケダ イクサブロウ</small>	社会民主党